

予防接種を受ける前に必ずお読みください

带状疱疹とは

带状疱疹は、水痘・带状疱疹ウイルスによって引き起こされる感染症です。ただし、初めて水痘・带状疱疹ウイルスに感染したときは、水痘（水ぼうそう）として発症します。多くの場合、水痘は子どもの頃に発症し1週間程度で治りますが、治癒後もウイルスは体内の神経節に潜伏しています。その後、加齢やストレス、過労などが原因となってウイルスに対する免疫力が低下すると、神経節に潜伏していたウイルスが再活性化し、神経を伝わり皮膚に到達して、痛みを伴う赤い発疹を生じます。これが带状疱疹です。一般に水泡の形成は3～5日ほど続きます。患部は通常、軽く触れるなど、どんな刺激にも敏感に反応し、激しく痛むことがあります。

带状疱疹ワクチン予防接種の接種方法と副反応

	生ワクチン（阪大微研）	組換えワクチン（GSK社）
接種回数（接種方法）	1回（皮下に接種）	2回（筋肉内に接種）
接種スケジュール	—	通常2か月以上の間隔を置いて2回接種 ※病気や治療により、免疫の機能が低下した、または低下する可能性がある方等は、医師が早期の接種が必要と判断した場合、接種間隔を1か月まで短縮できます。
接種できない方	病気や治療によって免疫が低下している方は接種できません。	免疫の状態に関わらず接種可能です。
接種に注意が必要な方	輸血やガンマグロブリンの注射を受けてた方は治療後3か月以上、大量ガンマグロブリン療法を受けた方は治療後6か月以上置いて接種してください。	筋肉内に接種をするため、血小板減少症や凝固障害を有する方、抗凝固療法を実施されている方は注意が必要です。

その他に、下記に該当する方も接種できません。

- ① 明らかな発熱のある人（通常37.5度以上の場合を指します）
- ② 重篤な急性疾患にかかっている人
- ③ 本ワクチンの成分に対し重度の過敏症（アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。前回までの接種でこれらの症状があった人は、同一成分を含むワクチンでの追加接種はできません。）の既往のある人
- ④ 診察の結果、医師が接種できない状態と判断した場合

ワクチンを接種後に以下のような副反応がみられることがあります。また、頻度は不明ですが、生ワクチンについては、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎、組換えワクチンについては、ショック、アナフィラキシー、ギラン・バレー症候群がみられることがあります。接種後に気になる症状が認められた場合は、接種した医療機関へお問い合わせください。

主な副反応の発現割合	生ワクチン（阪大微研）	組換えワクチン（GSK社）
70%以上	—	注射部位の疼痛
30%以上	発赤	発赤、筋肉痛、疲労
10%以上	そう痒感、熱感、腫脹、疼痛、硬結	頭痛、腫脹、胃腸症状、悪寒、発熱
1%以上	発疹、倦怠感	そう痒感、倦怠感、その他の疼痛

予防接種健康被害救済制度について

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすことはできないことから、救済制度が設けられます。

(1) 予防接種を受ける時の注意

带状疱疹ワクチン予防接種について、必要性や副反応についてよく理解しましょう。そして何か気になることがあれば、あらかじめかかりつけの医師に相談してください。

予診票は接種する医師にとって大切な情報です。責任を持って正確に記入するようにしましょう。

裏面もご確認ください。

(2) 予防接種に際し、注意が必要で医師とよく相談しなくてはならない人

- ① 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人
- ② 過去に免疫不全の診断を受けてた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- ③ 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
- ④ 他の予防接種を受けて、接種後 2 日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた人
- ⑤ 血小板減少症や凝固障害のある人、抗凝固療法を受けている人
- ⑥ 過去にけいれんを起こしたことがある人
- ⑦ ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人

(3) 他のワクチンとの同時接種・接種間隔

いずれの带状疱疹ワクチンについても、医師が特に必要と認めた場合は、インフルエンザワクチン、新型コロナウイルスワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチン等の他のワクチンと同時接種が可能です。ただし、生ワクチン（阪大微研）については、他の生ワクチンと 27 日以上の間隔を置いて接種してください。

(4) 带状疱疹ワクチンの効果

		生ワクチン（阪大微研）	組換えワクチン（GSK 社）
带状疱疹 に対する ワクチン の 効 果 (報告)	接種後 1 年時点	6 割程度の予防効果	9 割以上の予防効果
	接種後 5 年時点	4 割程度の予防効果	9 割以上の予防効果
	接種後 10 年時点	—	7 割以上の予防効果

※合併症の一つである、带状疱疹後神経痛に対するワクチンの効果は、接種後 3 年時点で、生ワクチンは 6 割程度、組換えワクチンは 9 割以上と報告されています。

(5) 予防接種を受けた後の一般的注意事項

- ① 接種を受けた後、30 分程度は安静にし、接種を受けた施設でお待ちいただき、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。
- ② 注射した部分は清潔に保つようにし、接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。また、接種後に体調が悪いときは無理をせず、入浴は控える等、様子を見るようにしてください。
- ③ 通常の生活は問題ありませんが、当日の激しい運動や過度の飲酒等は控えてください。

〈問い合わせ〉

河合町保健センター

☎0745-56-6006